

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月17日更新

事務事業名		災害復旧事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	九重 浩光
	施策	15	防災対策の推進			所属課	建設課	担当者名	坂井 修
	施策の柱	50	災害復旧対策			所属班	維持管理班	(内線)	5253
予算科目	会計一般	款 11	項 2	目 1	事業連番 11561	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市建設業協会との協定に基づき、災害出動時の実費として消耗品や機械借上料を協会へ支払う
【業務の流れ】	災害発生→協会へ災害場所への要請→完了→請求
【主な予算費目】	需用費、役務費、使用料及び賃借料
【意見や要望】	建設業協会から災害時の連携を密にし、早急な対応ができるよう的確な指示をお願いするとの声が上がっている

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	豪雨や台風等による災害について適切に対応した。 【基準に達しなかった理由】 市建設業協会へ要請を必要とする災害が発生しなかったため。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 災害の発生に備えた
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア: 機械借上料を支払った件数 → イ:	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	建設業協会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件 ア: 建設業協会と契約を交わした件数 → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	災害時応援をしてもらい実費を支払う	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 ア: 災害時に機械を借り上げた件数 → イ:
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠 緊急時に迅速な対応を可能にするため		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア 件	千円	0	0	1	0	1	1	1	1
	イ	千円								
	イ	千円								
② 対象指標	ア 件	千円	0	0	1	0	1	1	1	1
	イ	千円								
	イ	千円								
③ 成果指標	ア 件	千円	0	0	1	0	1	1	1	1
	イ	千円								
	イ	千円								
投資 入費 量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円			300		300	393	393	393
	(A) 事業費計	千円	0	0	300	0	300	393	393	393
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	人	人	3	2	3	5	3	3	3	
延べ業務時間	時間	時間	260	60	300	275	300	300	300	
(B) 人件費計	千円	千円	1,024	237	1,195	1,084	1,195	1,195	1,195	
トータルコスト(A)+(B)	千円	千円	1,024	237	1,495	1,084	1,495	1,588	1,588	

事務事業名	災害復旧事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 豪雨及び台風による災害について適切に対応した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 災害の発生に備える	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 可能な限り速やかに対応を行っており向上の余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の事業費である	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の人員により実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市で行うべき範囲について行っており適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市で行うべき範囲について行っており適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

豪雨及び台風による災害について適切に対応した

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					